

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・経常的事務事業

コード	名 称	
事業名	2010	介護予防特定高齢者施策事業
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える

担当部課名	地域包括支援センター
作成者氏名	増永由美
連絡先	26-1521

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)	
	心身の状況等により通所形態による事業への参加が困難な者であつて、低栄養状態を改善するために必要と認められる方。	介護予防ケアマネジメント業務により、個々の対象者の心身の状況、環境に応じて、対象者の選択に基づき、個別の介護予防ケアプランを作成したプランに基づき適切な事業を包括的かつ効率的に実施する。	
本年度事業内容	(事業の種類) ①特定高齢者把握事業 ②通所型介護予防事業 ③訪問型介護予防事業 ④介護予防特定高齢者施策評価事業		
開始年度	平成 18 年度	終了年度	平成 年度
根拠法令・要綱等		地域支援事業実施要綱	

投入資源

		H18	H19	H20
①投入人員	正規職員 (人)	0.7	0.7	0.7
	人件費合計(A)	5,040	5,040	5,040
②支出内訳(千円)	事業費(B)	29,960	39,960	49,960
	委託料	23,000	30,000	37,000
	その他	6,960	9,960	12,960
	合計(A+B)	35,000	45,000	55,000
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	13,125	16,875	20,625
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	17,500	22,500	27,500
一般財源	4,375	5,625	6,875	
上記①～③に関する特記事項				

活動指標

活動指標	単位	目標値	
		平成 18 年度	年度
特定高齢者把握対象者数	人	155/518	
通所型介護予防定員数	人	70/155	
訪問型介護予防回数(延べ)	回	84	
高齢者施策評価	人	155	

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H19目標値
特定高齢者把握	対象者に対して利用者数の割合(3割)	人	155/518
通所型介護予防	利用者数に対してプログラムの定員数	人	70/155

評価	必要性	4	一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組みを支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができる。
	有効性	4	個別の介護予防ケアプランを作成し、適切な事業を包括的かつ効率的に実施する。
	効率性	4	介護予防ケアマネジメント業務により、個々の対象者の心身の状況、その置かれている環境がわかる。

総合評価

A